

令和4年度東京都高齢者保健福祉施策推進委員会

保険者支援部会

<議事要旨>

日 時：令和5年1月12日（木曜日）午後2時から午後3時まで

開催方法：MicrosoftTeamsによるオンライン会議

出席者：大竹部会長、古本委員、直井委員、西田委員、一井委員、松本委員
（佐伯委員は欠席）

議題：（1）保険者機能強化推進交付金等（市町村分）に関する令和5年度評価指標の
該当状況等について
（2）自立支援、介護予防・重度化防止等の取組に係る保険者支援策について

議事内容：議題に沿って以下の議論が行われた。

【議題（1）：保険者機能強化推進交付金等（市町村分）に関する令和5年度評価指標の該当状況等について】

・資料3を用いて、保険者機能強化推進交付金等（市町村分）の令和5年度指標の東京都内保険者の状況等について事務局より説明。

<委員による意見等>

特になし

【議題（2）自立支援、介護予防・重度化防止等の取組に係る保険者支援策について】

・資料4及び資料5を用いて、これまでの経過や実績、及び保険者支援策の今後の方向性について事務局より説明。

<委員による意見等>

・事業者より地域密着サービス等を行いたいという要望があり、指定等を行う際に、保険者

では判断に迷うことがある。都に助言いただける機会があるとありがたい。

都) 疑義があった際には、事業者担当や保険者支援担当にご連絡をいただければ、その都度対応させていただく。

・島しょは福祉用具をレンタルするだけでも大変と伺う。また介護報酬の給付に関する解釈が保険者毎にばらつきがあるように感じ、支援が必要と思う。人材については、ケアマネの高齢化や居宅支援事業所の閉鎖等が課題となっており、ここにも支援が必要と考える。

都) 島しょの話は都としても把握している。今後も課題について情報提供をいただきたい。都としては、今後も情報収集を行い、都として何ができるか検討するとともに必要に応じ国提案も行っていきたいと考えている。

・国保連の支援の方向性を検討するためのアンケートを行った際には、ケアプラン点検と要介護認定に関する要望が多かった。ケアプラン点検については、他自治体の実施状況や好事例の共有、情報交換会、ケアプラン点検の効果検証を含む研修の開催、要介護認定については、認定審査会の標準化や委員の認識の統一に向けた研修会の実施、調査委員に向けたハンドブックのQ & Aの作成について多くの要望があがっていたので、継続的に実施されると良いと思う。

都) ケアプラン点検についてはケアマネ担当で研修等を行っているため、そことも情報共有を図っていきたい。今後とも、保険者のニーズに沿ったものになるように、保険者支援担当でもきちんと保険者のニーズを把握しながら研修等の検討を行っていきたいと考える。

・論点2に記載の4つの視点(①地域分析の支援 ②助言及び情報提供・共有③保険者機能強化のための研修 ④介護給付適正化)からの支援については、第9期計画においても継続することについて、異論なし。

都) 基本的にはこれまでの支援を継続しつつ、保険者ニーズや国の動向を随時確認しながら、支援をすすめていきたい。